



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流
 コード番号 9055 URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 孝一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 荒川 信一 TEL 045-532-1982
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,743	5.1	968	△13.5	1,012	△7.9	574	2.1
25年3月期第1四半期	17,837	7.4	1,119	25.5	1,098	21.5	562	35.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,365百万円 (28.9%) 25年3月期第1四半期 1,059百万円 (48.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	32.46	—
25年3月期第1四半期	31.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	59,017	37,435	57.1	1,904.29
25年3月期	58,188	36,631	56.5	1,858.55

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 33,697百万円 25年3月期 32,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,200	0.9	1,550	△18.9	1,550	△17.6	800	△15.4	45.21
通期	74,000	3.6	3,700	3.2	3,750	△7.1	1,950	△17.2	110.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	17,737,200株	25年3月期	17,737,200株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	41,878株	25年3月期	41,878株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	17,695,322株	25年3月期1Q	17,695,456株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月～6月）の世界経済は、米国が好調に推移する一方で、欧州経済の停滞継続、中国や新興国で景気減速傾向が見られるなど、まだら模様の状況となりました。日本においては、昨年末の政権交代に伴う経済対策を受けて、歴史的円高の是正や株価の回復が進むなど、明るい兆しが現れていますが、実体経済面では未だ厳しい状況が継続しました。

このような経済環境において、当社グループでは、新たに「『物流価値』を活かし『グローバル成長』を加速する」との基本方針を掲げました。当社グループの強み・物流力を活用して、お客様の価値向上につながる物流サービスを提供し、これまで取り組んできたグローバルでのビジネス拡大を更にスピード・アップして進めてまいります。

キーワードである「物流価値」、「グローバル成長」の実現に向け、引き続き「3・E-Logistics」（①E・nergy、「量の拡大」、②E・conomy、「質の向上」、③E・cology、「環境物流」）を徹底的に推進し、物流力を一層高めてまいります。

そして、「グローバル成長」のベースとなる取扱貨物量の確保・拡大に向けた事業戦略として、①グローバル・ネットワークや物流インフラを「拡」げる（地域戦略）、②当社独自のサービスメニューを「深」める（商品戦略）、③新規・深耕拡販によって顧客を「増」やす（顧客戦略）、④当社の強みを活用し、電子部品プラスαのマーケットを「加」える（市場戦略）に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高18,743百万円（前年同期比 5.1%増）、営業利益968百万円（同 13.5%減）、経常利益は1,012百万円（同 7.9%減）、四半期純利益は574百万円（同 2.1%増）となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界では、車載関連が、米国や新興国需要によって好調に推移しております。また、成長商品であるスマートフォンやタブレットPC向けについても、一時的な調整はありましたが拡大傾向が続いております。一方で、従来のデジタル家電、特に複合機に需要を奪われた単機能機につきましては厳しい状況となりました。

当社グループでは、このような需要動向のもとで、国内・海外が一体となった拡販活動を推進するとともに、海外を中心にネットワークやインフラの拡充を進め、グローバルにビジネスの拡大を図ってまいりました。

中国では、本年5月に上海アルプス物流の太倉支店（江蘇省）を設立しました。3千㎡強の倉庫を立ち上げ、同地区での新規・深耕拡販を進めてまいります。また、北米では、1月のメキシコ・レイノサでの倉庫拡張に続き、4月に米国・マッカレン（テキサス州）の倉庫を約25千㎡の規模に増床しました。好調な車載関連需要を捉え、取扱貨物量の拡大につなげてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上は海外ビジネスの拡大によって増収となりました。利益につきましては、国内の荷動きが昨年夏場以降の需要低迷からは回復に向かったものの、前年同期の水準には至らなかったことが影響し減益となりました。

当セグメントの売上高は8,717百万円（前年同期比 3.0%増）、営業利益は668百万円（同 17.2%減）となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品関連の包装資材、成形材料、電子デバイスの販売を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネスが、顧客の車載関連の生産拡大に伴って資材需要が増加する中で、売上、利益を伸ばしました。

当セグメントの売上高は4,152百万円（前年同期比 15.4%増）、営業利益は209百万円（同 57.3%増）となりました。

③消費物流事業

消費物流事業を担う(株)流通サービスでは、これまで生協の個配関連を柱として事業拡大を進めてまいりました。ここ数年、小売の宅配や通信販売のマーケットが拡大する中で、多くの物流企業が宅配ビジネスに参入し、競争環境は厳しさを増しています。

このような事業環境において、(株)流通サービスでは、事業方針である「新しいビジネスモデル」の確立に向けて、宅配ニーズの高い首都圏で「RSQ（レスキュー）便」サービスを開始するなど、体制整備を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、拡販活動によって個配を中心に売上を伸ばしましたが、利益面では新規ビジネスの立ち上げ等による費用増もあり減益となりました。

当セグメントの売上高は5,873百万円(前年同期比 1.7%増)、営業利益は91百万円(同 49.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

前連結会計年度末と比較した当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

総資産につきましては、「現金及び預金」が配当や法人税等の支払によって減少しましたが、売上の回復に伴い「受取手形及び営業未収金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末比829百万円増の59,017百万円となりました。

負債については、流動負債が「支払手形及び営業未払金」などの増加によって302百万円増加しましたが、固定負債が276百万円減少したことによって、負債合計では前連結会計年度末比25百万円増の21,582百万円となりました。

純資産につきましては、利益の確保による「利益剰余金」の増加や、円安に伴う「為替換算調整勘定」の増加などによって、前連結会計年度末比803百万円増の37,435百万円となりました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.6ポイント上昇の57.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月26日付「平成25年3月期決算短信」で発表しました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,399	11,306
受取手形及び営業未収金	10,996	12,662
商品	997	989
その他	2,002	2,154
貸倒引当金	△32	△32
流動資産合計	26,363	27,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,069	10,057
土地	14,525	14,525
その他（純額）	3,185	3,223
有形固定資産合計	27,780	27,805
無形固定資産		
のれん	56	51
その他	1,017	1,136
無形固定資産合計	1,074	1,187
投資その他の資産		
投資有価証券	371	418
その他	2,617	2,545
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	2,969	2,944
固定資産合計	31,824	31,938
資産合計	58,188	59,017
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,095	6,522
短期借入金	2,950	2,930
未払法人税等	939	436
賞与引当金	1,324	734
役員賞与引当金	—	9
その他	3,438	4,417
流動負債合計	14,749	15,051
固定負債		
長期借入金	2,736	2,590
退職給付引当金	1,573	1,580
役員退職慰労引当金	380	186
その他	2,117	2,174
固定負債合計	6,807	6,530
負債合計	21,556	21,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	2,029	2,029
利益剰余金	29,050	29,315
自己株式	△50	△50
株主資本合計	33,378	33,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	24
為替換算調整勘定	△486	28
その他の包括利益累計額合計	△491	53
少数株主持分	3,743	3,738
純資産合計	36,631	37,435
負債純資産合計	58,188	59,017

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,837	18,743
売上原価	15,508	16,462
売上総利益	2,328	2,280
販売費及び一般管理費	1,209	1,311
営業利益	1,119	968
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	3	3
為替差益	—	37
その他	55	44
営業外収益合計	62	88
営業外費用		
支払利息	41	36
為替差損	30	—
その他	11	8
営業外費用合計	83	45
経常利益	1,098	1,012
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	3	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	9
固定資産圧縮損	3	—
特別損失合計	5	9
税金等調整前四半期純利益	1,098	1,003
法人税、住民税及び事業税	433	286
法人税等調整額	9	73
法人税等合計	442	360
少数株主損益調整前四半期純利益	655	643
少数株主利益	92	68
四半期純利益	562	574
少数株主利益	92	68
少数株主損益調整前四半期純利益	655	643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	29
為替換算調整勘定	432	692
その他の包括利益合計	403	722
四半期包括利益	1,059	1,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855	1,119
少数株主に係る四半期包括利益	204	245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,462	3,599	5,774	17,837	—	17,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,462	3,599	5,774	17,837	—	17,837
セグメント利益	806	132	179	1,119	—	1,119

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,717	4,152	5,873	18,743	—	18,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,717	4,152	5,873	18,743	—	18,743
セグメント利益	668	209	91	968	—	968

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。